

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひろば		
○保護者評価実施期間	令和7年2月20日		～ 令和7年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和7年2月20日		～ 令和7年3月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各専門職とが協力をしあいながら、こどもの成長に合わせた支援計画を立て実施しています。また、個人の活動に限らず、集団から得られる経験ができるように、活動プログラムを計画しています。	月のプログラムとして製作週間や運動週間、季節行事の活動などをプログラムし、放課後にも充実した過ごし方ができるように各種役割を持った職員が計画をしています。運動週間においては専門的支援実施計画書に基づき、理学療法士と連携し、生活、活動の中で個人に合わせた運動、小グループでの運動ができるようにしています。	専門職とはより連携をし、職員が研修を受けるなどしながらそれぞれのスキルアップを目指し、個々の成長やニーズに合わせた適切な支援ができるように工夫をする事や、療育グッズの充実をさせたいと思っています。
2	施設の特徴としてバリアフリー化されている事、また施設が広いため、生活空間と活動空間を分ける事ができます。また、雨の日などでは施設内を散歩や他部署の様々な先輩方や職員と触れ合う機会が多く、こどもの社会性や人間関係の広がりが期待できます。	施設内での危険箇所については必要があれば改善するように取り組んでいます。また、散歩やお手伝いなどでひろば室外に出て交流ができるようにしています。放課後の時間や活動などでも一緒に遊ぶ機会を作ってもらい、楽しみながら交流ができるようにしています。	ボランティアの受け入れもしていますので、他部署の利用者や職員だけでなく、地域の方々との交流機会を増やせるようにしたいと考えています。
3	法人内に生活介護施設があり、卒業後に進路される場合は、事前に情報交換やこどもと関わってもらう時間が設けられる為、お互いに安心して新しい生活に向えられます。また、保護者からの質問などにも対応ができます。	卒業前から事前に交流や保護者の同意の基に情報提供などを行い、こども、保護者のライフステージの変化にも対応しやすいように取り組んでいます。	同施設の生活介護施設だけでなく、他施設との連携なども必要と考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童指導員の女性常勤職員がいない事。 (現在、女性の児童指導員は非常勤職員が2名配置されています) 職員の配置基準は満たしているが、保護者としては成長やプライバシーに関する面で女性職員に相談したいと思われる方もいますが、その対応が難しい現状にあります。	職員に関しては募集をしていますが、条件等(資格や時間帯など)に合う方がおらず、すまない状況にあります。また、非常勤職員に関しても増員予定で募集していますが、同様にすまない状況にあります。	人材紹介会社と提携しており、人材の紹介や紹介会社のホームページ内にて募集要項を掲載してもらい募集につながりやすいように取り組んでいます。
2	外部との交流(放課後児童クラブや児童館、地域のこども)機会を作る事ができていない事。感染対策の中でも地域での買い物外出や、公園散歩などに関する機会は計画的につくるようにしています。	施設に障害児支援施設、生活介護施設が併設しており、感染対策に関しては他の施設よりも厳重に対応しているため、外部との交流機会には制限を設けているのが現状です。また、放課後児童クラブや児童館との交流をするためには同じ目的、思いをもって交流する相手を見つける必要があるため、そういった環境がない事に難しさを感じています。	感染対策が緩和する中で、施設の外にでかける活動やボランティアの受け入れ、介護等体験の学生受入れなどを始めています。今後もどのように交流ができるかを模索していきたいです。また、放課後児童クラブなど地域のこどもとの交流については、どのように交流しているかをモデルケースとして紹介する研修の場や職員同士の顔合わせの機会などを作ってほしいと考え、市に提案をした事もあります。
3	保護者会以外の交流の場(きょうだい同士の交流するイベントの開催)が作れていない事。	コロナ感染拡大により、一時的に保護者会や個人面談が中止されましたが、感染緩和とともに現在は再開しています。コロナ前に行われていた親睦会はきょうだいの交流の場にも繋がっていたと思いますが、上記にあげた施設の特徴上、現在は自粛しています。また、以前のような人員を確保できるかが難しいのが現状でもあります。	感染対策が緩和する中では、以前のように親睦会ができる状況だと判断ができれば、現在できる規模にはなると思うが、開催したいと思っています。